

## 序

厚生省心身障害研究の一部門として、昭和58年度から発足した「小児慢性疾患の診断・治療・管理に関する研究班」は、初年度に加えられていた「脳性麻痺の治療に関する研究」(研究者・丸山勝一)の代りに、昭和59年度から「新生児外科的疾患に関する総合的研究」(研究者・秋山 洋)が加えられ、次の研究課題がふくまれている。

- 1) 慢性腎疾患の診断・治療に関する研究

研究者 酒 井 糾

- 2) 小児膠原病の診断・治療に関する研究

研究者 渡 辺 言 夫

- 3) 小児白血病の治療に関する研究

研究者 植 田 穰

- 4) 小児糖尿病の治療法の社会適応に関する研究

研究者 日 比 逸 郎

- 5) 新生児および小児心疾患の診断・治療・管理に関する研究

研究者 高 尾 篤 良

- 6) 新生児外科的疾患に関する総合的研究

研究者 秋 山 洋

ここに昭和59年度の研究業績をまとめたが、研究が多方面にわたるので、6名の研究者に昨年同様に、各研究課題の“総括”をまとめて頂き、それぞれの項に、その研究課題の直接の研究協力者を列記し、実際に研究に協力された方の姓名は、各研究報告に列記した。

これらの研究成果が、患児の診療に携わる多勢の医師に十分滲透・普及して、医療の水準の向上に役立つことを望んでやまない。

昭和 60 年 3 月

小児慢性疾患の診断・治療・管理に関する研究班

主任研究者 植 田 穰